

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業						担当部	こども未来部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般事業			担当課	こども政策課						
	事業期間	平成12年度以前			～	平成31年度以降			担当係	青少年育成係						
	総合計画 新基本計画	施策等	3 教育・子育て		13 子育て支援		4 健全な青少年を地域で育てます									
			重点事業		実施計画事業	○										
	予算区分	款	10		項	5		目	4		大	4		中	1	
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習推進計画														
	目的	何・誰を対象に	中学校地域コーディネーター													
		どの様な状態にするのか	学校地域コーディネーターの活動を通じて、地域が学校を支援する機会と、中学生が地域活動に参加する機会を推進する。また、青少年健全育成市民会議への補助を通じて、市民会議全体の活動のほか、各中学校区健全育成会の活動を推進し、青少年の健全育成を図る。													
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか	<p>◆27年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。(補助金3,520千円) あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年によい本をすすめる運動・家庭の日推進運動 ・少年センターが市民会議の事務局となっている。 ・学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人～2人配置した。(報償費2,199千円) ・コーディネーターは学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。 ・市制60周年記念事業として「こども議会」を平成27年8月7日に開催し、市内中学校9校より3名ずつ27名がこども議員として参加した。その成果を広く周知するため、こども議会だよりを4,620冊と記録用DVD50枚を作成した。こどもたちに市議会の仕組みを学び、小牧の将来像に関する提言や質問をいただくことで、市政に興味と関心を持っていただく機会となった。 <p>◆27年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校地域コーディネーター謝礼等(2,229千円) 青少年健全育成市民会議補助金(3,520千円) 市制60周年記念事業「こども議会」関連費用(1,545千円) その他、旅費、通信運搬費等(258千円) <p>◆28年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校地域コーディネーター謝礼等(3,280千円) 青少年健全育成市民会議補助金(3,720千円) その他、旅費、通信運搬費等(338千円) 														
受益者負担	無															

		単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,852	6,672	7,552	7,338	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	10,602	9,422	10,302	10,088	
対前年比	%			88.8	109.3	97.9		
財源	一般財源	千円	10,228	9,422	10,302	10,088		
	国・県支出金	千円	374	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H25	H26	H27	H28
	中学校地域コーディネーター人数	人	目標	9	9	9	9
			実績	13	15	15	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H25	H26	H27	H28
中学校地域コーディネーター活動回数	回	目標	700	700	700	700	
		実績	684	733	733		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成27年度の実施結果	事業の達成状況	・学校地域コーディネーター事業については、コーディネーターが支援する学校と地域をつなぐ活動が定着してきている。また、こども条例に関するワークショップや情報交換会を開催した。			
		事業実施における課題	学校地域コーディネーターの後継者育成及び人材の発掘。			
		基本施策の展開方向の目的に対する影響(貢献等)	青少年が豊かな心と健康を育み、健全育成に取り組んでいくことは、次代を担う人材としての自主性や社会性を身につけていく機会となり、地域コーディネーター活動は、青少年の教育環境を整えていくことにつながっていく。 こども議会開催によって得られた提言は、健全育成推進事業へ採り入れられ、こどもの夢を育むための様々な取組み事業への活性化をもたらしていく。			
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	・「笑顔でさきがけ あいさつ運動」を市民参加で推進し、一斉活動を6月と11月に開催する。			
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)		
	判定理由	学校地域コーディネーターの派遣事業、青少年健全育成市民会議への支援は、学校、家庭、地域の連携を目的として「子どもが健やかに成長できる環境づくり」を行うものであり、引き続き実施する。				
	29年度以降の改善案	新基本計画のアクションプランのひとつである「こどもを中心に全ての世代がつながっているまち」の理念を具現化している事業であり、「笑顔でさきがけあいさつ運動」の定着化に向けて、活動内容や成果の広報啓発を充実する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。